

科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名	課題演習Ⅱ（竹内）		
教員名	竹内 愛			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	近年、社会のグローバル化に伴い、仕事や留学の為に長期海外滞在をする日本人が増えています。海外に行かずとも、日本社会の中でも急速に国際化が進んでいることから、これからは世界のどこに居ようとも、国際言語である英語力はもちろんのこと、お互いの文化理解を伴うコミュニケーション力が必要になってきます。そうしたことから、我が国の英語教育においても、言語スキルの獲得だけでなく異文化理解育成の重要性が問われており、「英語力」と「異文化理解能力」は、これからの国際化時代を生き抜くための二大必須条件と言えるでしょう。この授業では、前期に学んだ基礎知識を基に、卒業論文テーマ設定への足掛かりを作ります。						
到達目標	(1)「異文化理解能力」、及び「異文化間コミュニケーション」についての基礎知識を身に付ける。(2)学術論文を読むことに慣れる。 (3)英語文献を読むことによって英語力を高める。 (4)ディスカッションを通して、自分の意見を効果的に伝えるスキルを身に付ける。 (5)前期で習得した基礎知識を基に、後期では各自が論文のテーマを模索し先行文献探しを始める。後期最後には、研究テーマを再考査の上で、研究案(仮)を提出する。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	後期前半では、前期に引き続き基礎知識の習得を行い様々なトピックに触れる。学期半ばには指導教員との面談を行い、卒業論文トピックを仮決定する。学期後半には、受講者の卒論テーマに近い学術論文を読み、ゼミ内で発表をする。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	「異文化間コミュニケーション」に興味があり、一定の英語力を有する人。授業にはしっかり準備をして臨み、欠席をしない人(週に一度のゼミですので、一回の欠席が学習に大きく影響します)。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業への参加度・貢献度(ディスカッションへの積極的参加を含む平常点)50% 担当部分のプレゼンテーション30% 期末レポート(卒業研究の素案)20%						
教材	「異文化理解力」エリン・メイヤー(著) 英治出版 ISBN 9784862762085						
参考図書	「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション誤解・失敗・すれ違い」久米昭元、長谷川典子(著) 有斐閣選書 I SBN 9784641281080						
内容・スケジュール	前期に引き続き、演習形式で文献口頭発表を順次行っていく。後期の最後には、卒論研究計画書を作成する。						

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty Seminar II			
Name	竹内 愛 (Takeuchi Ai)	Year and Semester	Second semester for 2020	Credits	2	
Course outline	This is a thesis preparation seminar for junior students. The aim of this seminar is first to equip students with the basic knowledge of intercultural communication as well as multicultural understanding. Then in fall semester, students will be introduced to various types of academic journals in the field both in Japanese and English so that they become familiar with a style of academic research paper.					